

# MMI ポータブル低圧持続吸引器

## 取扱説明書



管理医療機器

認証番号：225ADBZX00123000

販売名：MMI 低圧持続吸引器

## はじめに

この度は、MMI ポータブル低圧持続吸引器をご購入いただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書は、MMI ポータブル低圧持続吸引器の正しい取扱方法について説明しています。

MMI ポータブル低圧持続吸引器を正しくご活用いただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。

※お読みになった後は、使用時にいつでも見られるよう、大切に保管してください。

## 目次





1. 安全上の警告、禁忌・禁止、注意 .....	2
2. 製品概要と各部・付属品の名称・構造 .....	6
3. 一般的な使用方法とその注意事項 .....	9
3.1. ドレインの留置 .....	9
3.2. リザーバーの操作 .....	10
3.2.1. M-VAC .....	10
3.2.2. エバキュエーター .....	13
4. 使用後の処理に関する事項 .....	16
5. 保管方法に関する事項 .....	16
6. トラブルシューティングに関する事項 .....	17
7. 技術仕様 .....	18
7.1. ドレイン .....	18
7.2. リザーバー .....	18
8. アフターサービスとその連絡先に関する事項 .....	18
9. 保証 .....	19

## 1. 安全上の警告、禁忌・禁止、注意

使用する前に、この「安全上の警告、禁忌・禁止、注意」を、よく読んで、正しくお使いください。

※ ここに示した注意事項は、製品を安全かつ適正に使用して、使用者等への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※ 危害や損害の大きさと切迫の程度を明確にするため、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「禁忌・禁止」「注意」の三つに区分して示しています。

図記号の例	
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示します。
 <b>禁忌・禁止</b>	人が死亡または重症を負うことが想定されるため、避けるべき患者や使用方法を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
 <b>ポイント</b>	使用上のポイントや、確認いただきたいことを示します。

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

## 警告

1. リザーバー作動時には、エアーリーク等にじゅうぶん注意し、必ず吸引が行われていることを定期的を確認してください。閉鎖型吸引ドレナージシステムは常に陰圧が維持されている必要があります。（「注意」の 18.参照）
2. 血管、組織、臓器等の損傷に注意して使用してください。トロッカー針が鋭利なため、血管、組織、臓器等に損傷を与える可能性があります。
3. 先の尖った刃のある器具又は鈍器での取扱いはじゅうぶんに注意してください。ドレインは柔軟で傷つきやすいため、鋭利なものに触れたり、ミルキングローラー等での圧搾や過度の圧迫によって、切れたり裂けたりする可能性があります。
4. ドレインの患者留置側の留置部全体を、留置マーカが体表に出ないように、ドレナージを行う創部や体腔内に留置してください。体液貯留が生じる可能性があります。

## 禁忌・禁止

1. 本品は、再使用及び再滅菌しないでください。
2. 断続的に空気を吸引する可能性のある部位にドレインを留置しないでください。リザーバーが全開し、吸引できなくなります。
3. 本品を中枢神経及び顔面神経等に接触する可能性のある部位や頭蓋骨内又は頭蓋骨欠損部に使用しないでください。血管損傷による硬膜外出血、硬膜下出血等の重篤な有害事象を発生させる可能性があります。
4. 胸腔にドレインの留置を行う際、肺実質からのエアーリークが認められる場合にはリザーバーは使用しないでください。リザーバーが全開し、吸引できなくなります。
5. ドレインを縫合したり切り込みを入れたりしないでください。ドレインの破損又は創傷内での切離を引き起こす可能性があります。
6. リザーバーに集液された血液は再使用しないでください。二次汚染のリスクが発生し、血液由来病原体による伝染を引き起こす可能性があります。
7. MRI 装置等の磁場を発生させる装置とリザーバー（M-VAC）を併用しないでください。リザーバー（M-VAC）内部のスプリングは磁性体であるため、磁場により装置に引き付けられ、ドレインの抜去やリザーバーの脱落、又は装置等に影響を与える可能性があります。
8. リザーバーの排出口に他の吸引器を接続して使用しないでください。逆止弁が閉塞して吸引不良による血腫形成や、低圧が維持されないことによる留置部位での組織損傷を引き起こす可能性があります。
9. 当社指定以外の構成部品を使用しないでください。有効な吸引圧が得られない可能性があります。


**注意**

1. 本品は閉鎖型吸引ドレナージシステムです。それ以外の目的で使用しないでください。
2. 必ず本品を用いる術式に習熟した医師が使用してください。
3. 本品の二次的加工をしないでください。
4. 患者によっては留置されたドレインにより異物反応を示す可能性があるため、慎重に使用してください。
5. 術後予測される出血量及び滲出液量に応じ、適切なサイズ及び数量を選択してください。
6. 包装や製品に破損、汚れ等の異常が認められた場合は使用しないでください。
7. 開封前にリザーバー（M-VAC）が膨らんでいる場合は、リザーバーが破損している可能性があるため、使用しないでください。
8. 使用前に、リザーバーが正しく機能することを確認してください。
9. トロッカー針を曲げる際は、必ず保護キャップを付けた状態で行ってください。
10. 繰り返しトロッカー針を曲げ伸ばししないでください。折れる可能性があります。
11. ドレインとアダプターは、必ず正しい組み合わせで使用してください。
12. エアリークしないよう、各接続部、アダプター及びキャップ等はしっかりと差し込んでください。
13. ドレインを留置する際には、ドレインを屈曲させずに、ドレインの挿入経路で必要とする長さだけを体内に留置し、ドレインが臓器や血管を圧迫する位置には留置しないでください。留置したドレインが臓器や血管を圧迫し続けることにより、組織損傷を引き起こす可能性があります。
14. 胸腔にドレインの留置を行う場合は、血管、肺や心臓等の臓器を損傷しないように挿入位置や挿入方向に注意してください。また、ドレインを目的とする位置に留置できていることを、胸部レントゲン撮影により確認の上、患者状態をモニタリングしてください。
15. ドレインを針糸等でループ状に固定するときは、きつく縛りすぎることによる閉塞にじゅうぶんに注意し、ドレインの硬い部分で固定してください。
16. リザーバー（M-VAC）のフラップを手前に折り曲げてばねを開放する際、衝撃でリザーバーを落とさないよう注意してください。
17. リザーバーは創部より低い位置で保持してください。じゅうぶんな吸引力が得られない可能性があります。
18. 閉鎖型吸引ドレナージシステムは常に陰圧が維持されている必要があり、ドレイン留置時並びにリザーバー作動時は以下の点にじゅうぶん注意してください。
  - 1) ドレイン刺入部や接続部又は回路からのエアリーク  
本システムの閉鎖性が維持されなかった場合、体外からの空気の流入によりリザーバーが全開になり、リザーバー内の空気が逆止弁を超えて逆行性汚染が生じるおそれがあります。

 **注意**

## 2) ドレインの閉塞

フィブリン、血腫、あるいは微細な組織片等によるドレインの閉塞が起こった場合は、本システムの吸引機能が失われます。低圧持続吸引が行われなかった場合、血腫、漿液腫形成による神経圧迫等から麻痺症状、感染等が生じるおそれがあります。

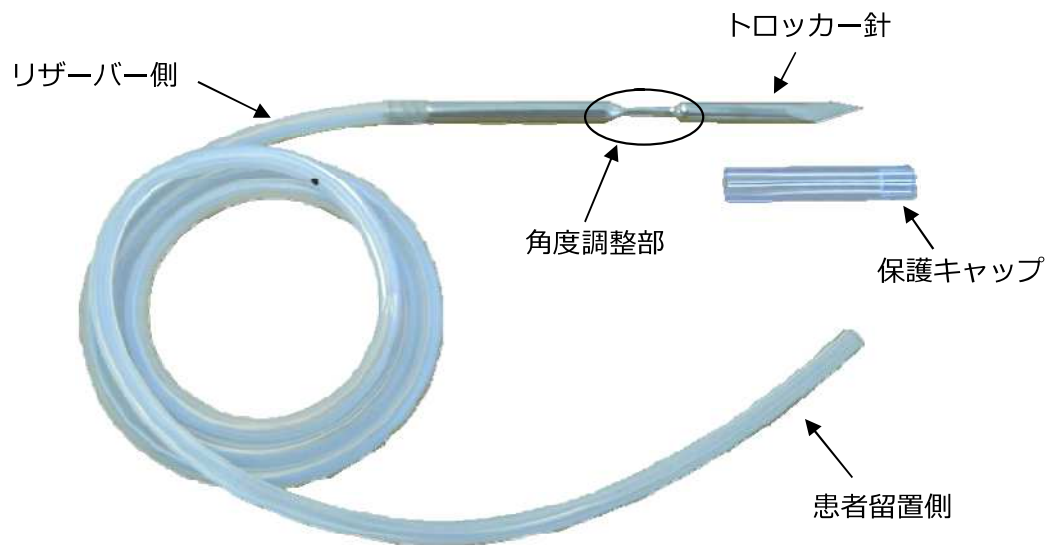
## 3) リザーバーの全開／充満

リザーバーの全開／充満により吸引が行われず、血腫・漿液腫形成のおそれがあります。リザーバーが排液でいっぱいになった状態で排液、再始動操作が行われないと、持続吸引効果が損なわれ、ドレインから体内へ、また逆止弁を超えて逆行性汚染が生じるおそれがあります。

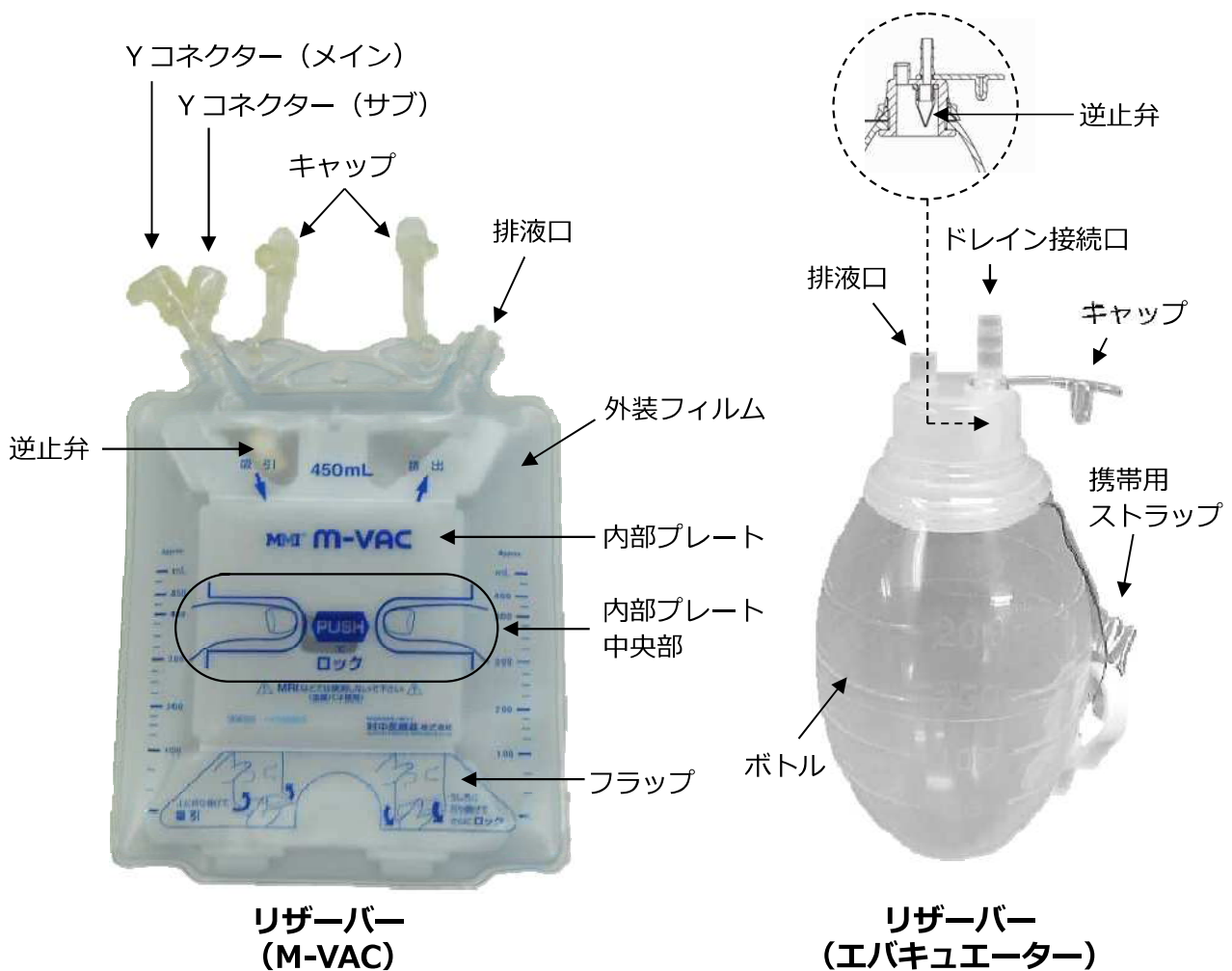
19. 回路からのエアリークが認められる場合は、気密性を保つように処置を行い、気密性を確保してください。
20. 整形外科手術における本品の留置中及び抜去時には、人工関節や固定用インスツルメントへのはさみこみ、引っ掛かりに注意してください。ドレインに局所的な負荷がかかり、破断する可能性があります。
21. 血液・滲出液等によるドレインの閉塞のおそれがあるため、必要に応じて、ドレインの破損等に注意しながらミルキングを行ってください。
22. ミルキングには、手やアルコール綿等を用いてください。
23. ドレインを一定期間体内に留置することにより、ドレイン留置部周辺の組織が成長し、ドレナーゼ効果に影響が生じる、又は抜去時に抵抗が生じる可能性があります。
24. ドレインを抜去する際は、吸引を中止してから手でゆっくりと行ってください。鉗子類を使用すると、ドレインが破損する可能性があります。
25. 長期間使用する場合は、リザーバー内の汚染にじゅうぶん注意し、必要に応じて交換してください。
26. 破損防止のため、本品の扱いには注意し、外的な衝撃が加わらないようにしてください。
27. 使用後は、感染防止に留意し、医療廃棄物として適切な方法で廃棄してください。
28. いったん開封した場合は未使用であっても廃棄してください。
29. 吸引した排液は、原疾患、術後の経過、留置期間、製品部品など様々な要因により、色の変化、浮遊物の発生、混濁するなど性状の変化が起こる可能性が考えられます。リザーバー内に貯留した排液は、排液内の成分が凝集する可能性や金属製スプリングの錆が生じる可能性など性状が経時的に変化する場合があります。リザーバーに貯留した排液の性状をもとに患者の容態を判断しないよう留意してください。

## 2. 製品概要と各部・付属品の名称・構造

ドレインを体内に留置し、リザーバーで生じる陰圧により創部の血液、膿、滲出液、空気等を吸引して体外に排出し、リザーバーに貯留します。本品は滅菌済みです。



**ドレイン（トロッカー針付き）**  
 ※外径 24Fr はトロッカー針なし



[ドレイン側]



①10Fr用 ②15Fr用 ③19Fr用 ④24Fr用

**M-VAC用アダプター**



⑤10Fr用 ⑥Yアダプター

**エバキュエーター用  
アダプター**

[リザーバー側]

ドレイン（患者留置側）		M-VAC	エバキュエーター
形状	外径 (呼称)		
ラウンド型	10Fr (3.4mm)	①	⑤
	15Fr (5.0mm)	②	不要
	19Fr (6.4mm)	③	不要
	24Fr (8.0mm)	④	④+⑥ ※ 2本留置での使用のみ可
フラット型	7mm	②	不要
	10mm	②	不要



**ポシエット  
(未滅菌品)**



注文コード	品番	商品名	包装単位
502-003-20	S23101	MMI ポータブル低圧持続吸引器リザーバー M-VAC,150ml	5 個入/箱
502-003-21	S23102	MMI ポータブル低圧持続吸引器リザーバー M-VAC,300ml	5 個入/箱
502-003-22	S23103	MMI ポータブル低圧持続吸引器リザーバー M-VAC,450ml	5 個入/箱
502-003-23	S20201	MMI ポータブル低圧持続吸引器リザーバー エバキュエーター,125ml	5 個入/箱
502-003-24	S20407	MMI ポータブル低圧持続吸引器リザーバー エバキュエーター,200ml	5 個入/箱
502-003-35	S33515	MMI シリコンドレインチューブ,ラウンド型,4ルーメン,10Fr(3.4mm),1100mm,トロッカー針付	5 本入/箱
502-003-36	S33516	MMI シリコンドレインチューブ,ラウンド型,4ルーメン,15Fr(5.0mm),1200mm,トロッカー針付	5 本入/箱
502-003-37	S33517	MMI シリコンドレインチューブ,ラウンド型,4ルーメン,19Fr(6.4mm),1200mm,トロッカー針付	5 本入/箱
502-003-31	S33520	MMI シリコンドレインチューブ,ラウンド型,4ルーメン,24Fr(8.0mm),1100mm,トロッカー針なし	5 本入/箱
502-003-38	S33518	MMI シリコンドレインチューブ,フラット型,4ルーメン,7mm,1100mm,トロッカー針付	5 本入/箱
502-003-39	S33519	MMI シリコンドレインチューブ,フラット型,4ルーメン,10mm,1100mm,トロッカー針付	5 本入/箱
502-003-32	5120000048	Y アダプター	5 個入/箱
502-003-33	5120000049	MMI コネクター	5 個入/箱
502-003-30	S33600	ポシエット (MMI ポータブル低圧持続吸引器リザーバー用)	5 枚入/袋

※アダプター①～⑤は、それぞれ対応する径のドレインチューブに同封されています。

※本品は個包装です。

### 3. 一般的な使用方法とその注意事項

#### 3.1. ドレインの留置

- 1) 適切な径のドレインを選択し、滅菌包装から無菌的に取り出します。
- 2) 【トロッカー針付きの場合】
  - ① 必要に応じて、保護キャップを付けた状態でトロッカー針を適切な角度に曲げます。
  - ② 保護キャップを外し、創縁（切開部）から適度に離れた位置の体内から体表に向かって穿刺します。若しくは、創縁から適度に離れた位置に皮膚切開を行いドレイン刺入部（出口）を作成し、刺入部からドレインを引き出します。

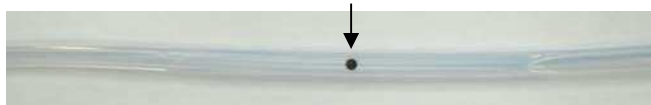
#### 【トロッカー針無しの場合】（24Fr ドレイン）

創縁から適度に離れた位置に皮膚切開を行いドレイン刺入部（出口）を作成し、刺入部からドレインを引き出します。

#### **!** 注意

1. 繰り返しトロッカー針を曲げ伸ばししないでください。折れる可能性があります。
2. ドレインの留置マーカが体表に出ないように留置してください。

留置マーカー



- 3) 必要に応じてドレインの患者留置側（吸引部）を適切な長さに切断します。
- 4) 閉塞しないようにじゅうぶん注意しながらドレインを固定します。必要に応じてテープ固定や針糸等でループ状に固定してください。

#### **!** 禁忌・禁止

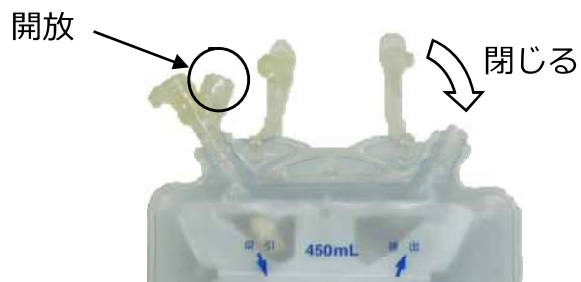
ドレインを縫合したり切り込みを入れたりしないでください。ドレインの破損又は創傷内での切離を引き起こす可能性があります。

- 5) トロッカー針付きのドレインはトロッカー針を切り離し、必要に応じて滅菌包装より無菌的に取り出したアダプターを接続してください。

## 3.2. リザーバーの操作

### 3.2.1. M-VAC

- 1) リザーバー（M-VAC）を滅菌包装より無菌的に取り出します。
- 2) 以下の手順に従い、リザーバーが正しく機能することを確認してください。
  - ① 排液口のキャップを閉じ、Yコネクター（サブ）のキャップが開いていることを確認する。



- ② 内部プレート底部のフラップを手前に折り曲げてばねを開放する。



#### ⚠ 注意

ばねが開放される際の衝撃でリザーバーを落とさないよう注意してください。

- ③ リザーバーを軽く押して、Yコネクターから空気が排出されないことを確認する。

#### 👉 ポイント

強く押しすぎないでください。

- 3) 排出口のキャップを開けます。
- 4) 内部プレート中央部（親指のマーク）を指ではさみ、カチッと音がしてばねがロックされるまで強く押します。

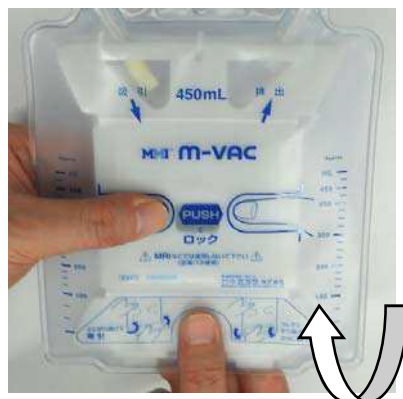


- 5) フラップをうしろに折り曲げてさらにロックします。



- 6) Y コネクター（メイン）のキャップを外し、ドレインに接続したアダプターを差し込みます。  
※2本目のドレインを接続する際は、Y コネクター（サブ）に差し込みます。
- 7) Y コネクター（サブ）及び排液口のキャップを閉じます。
- 8) 創部より低い位置で、Y コネクター及び排液口が上方に、フラップが下方に位置するように持ちます。

- 9) フラップを手前に折り曲げると、内部のばねが開放されて吸引を開始します。



手前に

### ⚠️ 注意

ばねが開放される際の衝撃でリザーバーを落とさないよう注意してください。

### 👉 ポイント

操作直後にリザーバーが全開になった場合は、エアリークの可能性がります。各部の接続、破損、及び留置マーカーが体表に出ていないかを確認してください

- 10) リザーバーを創部より低い位置で、ポシエット等を用いて保持してください。

- 11) 排液量を確認するには、排液口のキャップを開けてリザーバーが全開になった状態で側面の目盛りを読みとります。

### 👉 ポイント

一度リザーバーを全開にすると、吸引は終了します。12) 以降の説明に従って、排液を捨てて再度吸引操作を行ってください。

- 12) 排液口のキャップを開けてリザーバーを全開にし、傾けて排液口から排液を捨てます。途中で排液が止まった場合は、一度リザーバーを立ててから再度傾けてください。リザーバーを圧縮する場合は、内部プレート中央部を浅めにゆっくりと押してください。

### 👉 ポイント

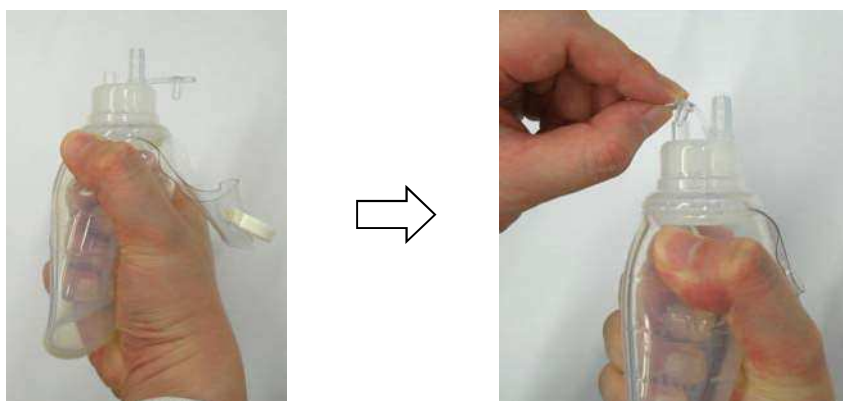
ドレインの長さにしゅうぶんに余裕を持たせた状態で行ってください。

- 13) 再度吸引を行う場合は、ドレイン、アダプター及びリザーバーの各接続部が確実に接続されていることを確認し、3) 以降の説明に従い操作してください。

※吸引開始操作をしても吸引が始まらない場合は、再始動操作を数回繰り返してください。逆止弁が開放され、吸引が始まります。ただし、繰り返しても正常に始動しない場合は、新しいリザーバーに交換してください。

### 3.2.2. エバキュエーター

- 1) リザーバー（エバキュエーター）を滅菌包装より無菌的に取り出します。
- 2) 以下の手順に従い、リザーバーが正しく機能することを確認してください。
  - ① 排液口のキャップを開けた状態でリザーバーを押しつぶし、排液口のキャップを閉じる。



- ② 押しつぶした手を離すと元の形状に戻ることを確認する。
- ③ 排液口のキャップを閉じる。
- ④ リザーバーを軽く押して、ドレイン接続口から空気が排出されないことを確認する。

#### ポイント

強く押しすぎないでください。

3) ドレインのトロッカー針を切り離れた部分をリザーバーに接続します。

【1本留置の場合】

ドレインをドレイン接続口に差し込みます。

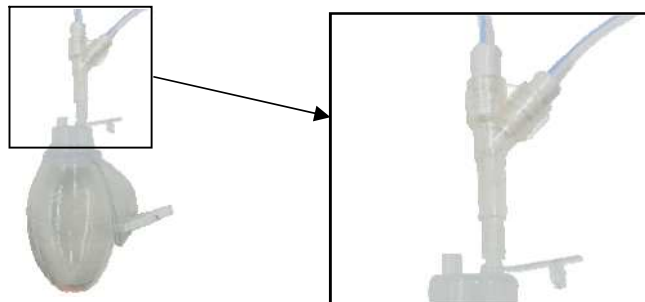
※10Frドレインを使用する場合は、エバキュエーター用アダプター（10Fr用）を使用してください。

**ポイント**

ドレインを1本しか使用しない場合は、Yアダプターは使用しないでください。

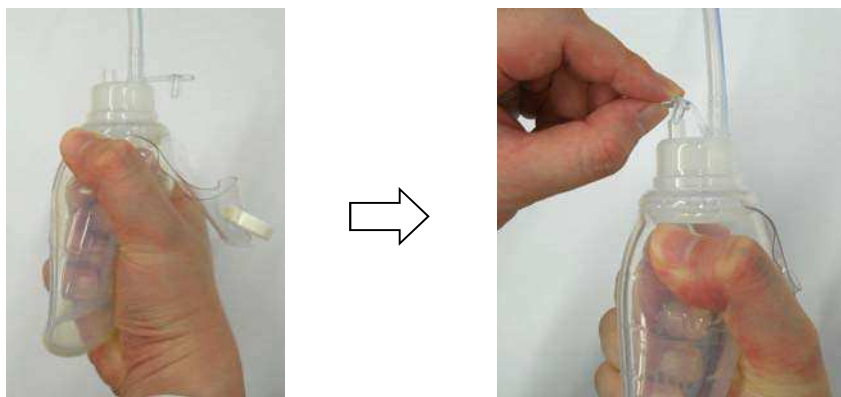
【2本留置の場合】

- ① Yアダプターをリザーバーのドレイン接続口に接続します。
- ② M-VAC用アダプターをドレインに接続します。
- ③ ドレインに接続したM-VAC用アダプターをYアダプターに差し込みます。



4) 創部より低い位置で、ドレイン接続口及び排液口が上方に位置するように持ちます。

5) 排液口のキャップを開けた状態でリザーバーを押しつぶし、キャップを閉じます。



- 6) 押しつぶしていた手を離すと、吸引を開始します。

### ポイント

操作直後にリザーバーが全開になった場合は、エアーリークの可能性があります。各部の接続、破損、及び留置マーカが体表に出ているかを確認してください。

- 7) リザーバーを創部より低い位置で保持してください。

- 8) 排液量を確認するには、排液口のキャップを開けてリザーバーが全開になった状態で目盛りを読み取ります。

### ポイント

一度リザーバーを全開にすると、吸引は終了します。9) 以降の説明に従って、排液を捨てて再度吸引操作を行ってください。

- 9) 排液口のキャップを開けてリザーバーを全開にし、傾けた状態でゆっくりとリザーバーを押して排液口から排液を捨てます。押しつぶした手を離す際は、一度リザーバーを立ててから手を離してください。

### ポイント

ドレインの長さにじゅうぶんに余裕を持たせた状態で行ってください。

- 10) 再度吸引を行う場合は、ドレイン、アダプター及びリザーバーの各接続部が確実に接続されていることを確認し、4) 以降の説明に従い操作してください。

※吸引開始操作をしても吸引が始まらない場合は、再始動操作を数回繰り返してください。逆止弁が開放され、吸引が始まります。ただし、繰り返しても正常に始動しない場合は、新しいリザーバーに交換してください。



#### 4. 使用後の処理に関する事項

- 1) 刺入部からドレインを体外へ引き出す際は、組織及び血管の損傷に注意してください。また、過度の抵抗を感じた場合は、無理に引っ張らないでください。
- 2) ドレインを抜去する際は、吸引を中止してから手でゆっくりと行ってください。鉗子類を使用すると、ドレインが破損するおそれがあります。
- 3) リザーバーに集液された血液は再使用しないでください。二次汚染のリスクが発生し、血液由来病原体による伝染を引き起こす可能性があります。
- 4) 本品は血液・体液に接触する製品であるため、感染防止に留意し、一患者ごとに医療廃棄物として適切な方法で廃棄してください。

#### 5. 保管方法に関する事項

##### 1) 保管方法

- ① 水濡れに注意し、直射日光を避け、清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管してください。
- ② 包装に傷がつかないように、また製品に衝撃や力が加わらないように保管してください。

##### 2) 滅菌有効期間

3年 [自己認証 (当社データ) による]

##### 3) 使用期間 (留置期間)

ドレイン : 29日 [自己認証 (当社データ) による]

## 6. トラブルシューティングに関する事項

現象	考えられる原因	処置方法
吸引開始操作をしたが、吸引されない (リザーバーが膨らまない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ドレインが閉塞している</li> <li>• リザーバーの破損</li> <li>• 逆止弁のつまり</li> </ul>	<p>→ドレインの閉塞箇所を確認し、必要に応じてミルキングを行ってください。</p> <p>→新しいものと交換してください。</p> <p>→吸引開始操作を繰り返してください。</p> <p>それでも吸引が開始されなければ新しいものと交換してください。</p>
吸引開始操作をしたが、吸引されない (リザーバーは膨らむ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Y コネクター (サブ) 又は排液口のキャップが開いている</li> <li>• ドレインの患者留置側が、断続的に空気を吸引する可能性のある部位など、適切な位置に留置されていない</li> <li>• ドレイン、アダプター又はドレイン接続口がそれぞれ適切に接続されていない</li> </ul>	<p>→キャップを閉めてください。</p> <p>→適切な位置に調整してください。その際、留置マーカの位置も確認し必要に応じて調整してください。</p> <p>→接続部を確認し、正しく接続し直してください。</p>
吸引が行われない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リザーバーの全開</li> <li>• 逆止弁のつまり</li> </ul>	<p>→排液操作をしてください。</p> <p>→吸引開始操作を繰り返してください。</p> <p>それでも吸引が開始されなければ新しいものと交換してください。</p>
使用前からリザーバー (M-VAC) が膨らんでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 衝撃や不要な力が加わった</li> <li>• リザーバーの故障</li> </ul>	<p>→新しいものと交換してください。</p>

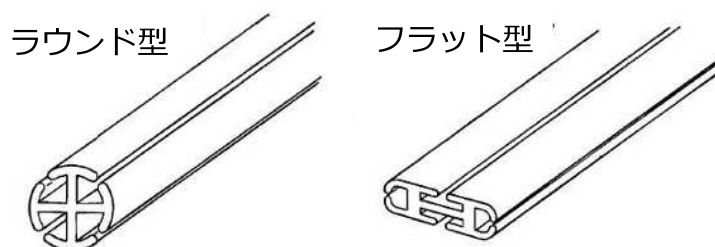
上記以外の場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

## 7. 技術仕様

### 7.1. ドレイン

ドレインの種類 (呼称)		全長 (mm)	留置部 (mm)	吸引部 (mm)
ラウンド型	10Fr (3.4mm)	1100	250	200
	15Fr (5.0mm)	1200	350	300
	19Fr (6.4mm)	1200	350	300
	24Fr (8.0mm)	1100	350	300
フラット型	7mm	1100	260	210
	10mm	1100	260	210

※全長はトロツカー針部分を含まない寸法



患者留置側 (吸引部)

### 7.2. リザーバー

種類	容量 (mL)	最高陰圧
M-VAC	150	8.5kPa (64mmHg)
	300	7.6kPa (57mmHg)
	450	6.8kPa (51mmHg)
エバキュエーター	125	6.1kPa (46mmHg)
	200	6.9kPa (52mmHg)

## 8. アフターサービスとその連絡先に関する事項

製造販売業者：村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目 8 番 2 号

TEL 0725-53-5546 <http://www.muranaka.co.jp/>

## 9. 保証

### 保証規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、お買い上げ日より一年以内に故障した場合、無償修理いたします。
2. 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 本書の提示がない場合。
  - (ホ) 本書にお買い上げ日、お客様名、お買い上げ店名の記入のない場合あるいは字句を書替えられた場合。
  - (ヘ) 消耗部品。
  - (ト) 故障の原因が本品以外に起因する場合。
  - (チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障及び損傷。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
4. 本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### 品質保証書

このたびは、MMI ポータブル低圧持続吸引器をお買い求めいただきありがとうございました。本品は厳重な検査を行い、高品質を確保しております。しかし通常のご使用において、万一不具合が発生した場合は、保証規定により、お買い上げ日より一年間は無償修理いたします。

※製品の保証は日本国内での使用に限ります This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては必ず販売店にて記入捺印をお受けください。

商品名: MMI ポータブル低圧持続吸引器  
製造番号/記号:  
ご芳名

ご住所

TEL. ( )

お買い上げ店名

印

住所

TEL. ( )

お買い上げ日 年 月 日

製造販売業者: 村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目8番2号 TEL 0725-53-5546